



～自分の命は 自分で守る～

沼津市教育長 奥村 篤

令和6年元旦、石川県能登半島で最大震度7の大きな地震が起き、発災から3か月が経ちました。現在も乳幼児から高齢者に至る多くの方々が避難所生活を強いられており、その中には受験を控えていた子供たちや、家族と別れて集団避難をせざるを得なかった子供たちもいました。また、卒業式や修了式を自分たちの学校で行えなかった子供たちもいたことを思うと、胸が苦しくなります。

人々の生活が元に戻るにはまだまだ多くの時間を要します。亡くなられた方やその御家族の皆様には、謹んで哀悼の意を表します。また、被災地の復旧・復興と、被災された方々に穏やかな日常が一日も早く訪れますよう、心よりお見舞いを申し上げます。

今回の大規模地震は、たまたま私達の生活エリアで発生しなかっただけで明日は我が身です。自分たちが、被災地・被災者支援に向けてできることに取り組むことと併せ、これまで以上に防災意識を高め、大人も子供も危機回避や減災への判断力を身に付けていかなければならないと思います。学校内では管理職の迅速な判断はとても大切になりますが、自然災害が学校外で起きたらどうでしょうか？ その時、周りに誰もいなかったら…。

地震のような自然災害は、いつ、どこで、どの程度の規模のものが発生するか、正確な予測ができません。だからこそ、いざという時にどのような判断をして行動すれば良いのか、自分の命は自分で守る「自助」の重要性が心身に染み込んでいなければなりません。それには子供たちがあらゆる状況でも臨機応変に対応できるよう、授業はもとより、日頃の様々な場面や機会を通して、「適切な思考力、判断力、そして実践力」を高めていく必要があります。言い換えるなら「自ら考え、判断し、行動する」力が自分の命を守るのです。

能登半島地震の被災状況を踏まえ、これからの防災教育は、コミュニティ・スクールを通して、子供と地域が主体となり、地域に根差した形で取り組むことがますます求められると思います。

令和6年度は、大規模地震は必ず起きること、自然災害は避けられないことを前提に、地域とともに防災教育に取り組んでまいりたいと思います。



面接相談&電話相談



◎ 非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など、青少年に関する相談を直接（面接）または電話で行うことができます。

1 面接相談

◎ 相談受付時間…午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）TEL055-951-3440

(1) 新規面接相談件数 1月～3月 **25 件** 年間合計 **92 件**

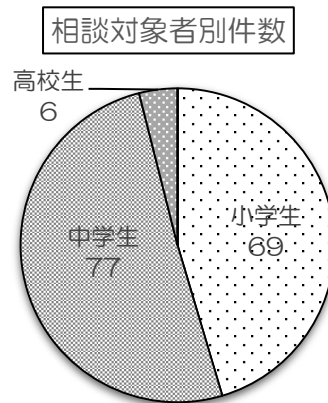
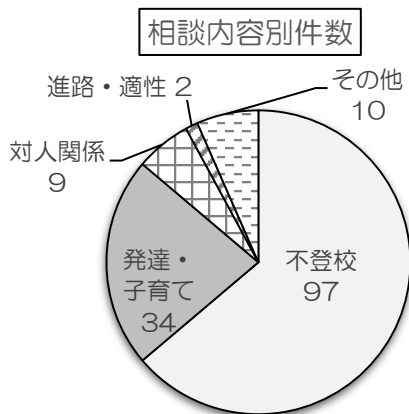
<相談内容別件数>

	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
1月	0	7	1	0	1	0	9
2月	0	6	2	0	1	0	9
3月	0	5	0	0	1	1	7
合計	0	18	3	0	3	1	25
年間	0	56	20	2	5	9	92

<相談対象者別件数>

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	成人	合計
1月	0	4	5	0	0	0	9
2月	0	5	4	0	0	0	9
3月	0	3	4	0	0	0	7
合計	0	12	13	0	0	0	25
年間	0	44	45	3	0	0	92

(2) 年間面接相談件数 **152 件**



(3) 年間面接相談回数 **2004 回** ※相談員が面接を実施した回数

本年度から、当センターの相談業務及び専門家の知見啓発を目的に「はばたき だより」を年6回発行（偶数月）することになりました。ついては、本日より、記事の一部を転載していきます。

【4月号より】

新学期がスタートして一ヶ月が過ぎました。お子さんの気になる様子や行動、接し方など、どんなことでもお聞きして、一緒に考えさせていただきます。小さなことでも、お気軽にご相談ください。

2 電話相談（愛称：やまびこ電話 055-951-7330）
 ◎相談受付時間……午前10時～午後7時 月～金曜日（祝日を除く）



＜相談内容別件数＞

	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言	合計
1月	0	1	0	6	0	3	0	19	41	70
2月	0	0	0	9	0	5	1	25	75	115
3月	0	1	0	3	0	6	0	7	23	40
合計	0	2	0	18	0	14	1	51	139	225
年間	0	9	10	81	3	84	3	224	404	818

＜相談対象者別件数＞

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学・専門生	一般成人	不明	合計
1月	0	3	1	3	1	0	12	50	70
2月	0	5	1	1	0	0	17	91	115
3月	0	1	0	1	1	0	8	29	40
合計	0	9	2	5	2	0	37	170	225
年間	0	41	10	24	5	0	207	531	818

*相談内容別件数、相談対象者別件数の年間合計で、数値の修正を行いましたので、ご了承ください。

情報コーナー

「何か不安なこと、悩んでいることはありませんか」

新学期がスタートしました。心機一転がんばろうと思う反面、不安な気持ちや悩みを抱えている方もいるかと思います。

私たち相談員は、みなさんの心を元気にするお手伝いをしたいと思っています。どんなに小さなことでも、お気軽にご相談ください。

＜相談の流れ＞

- ① 電話で連絡（055-951-3440）
↓
- ② 初回面接 ※センターへお越しいただきます。
↓ 専任の相談員がお話を伺う中で解決に向けたお手伝いをします。
- ③ お子さんに応じた支援を実施

面接相談

お子さんもしくは保護者と相談員との1回1時間程度の面接を定期的に継続します。

体験活動 「はばたき」

小集団での体験活動（創作、運動、調理、レクなど）を通して自立心や社会性を養います。

相談指導学級「はばたき教室」

自分で立てた計画に基づき、日課に沿って過ごします。利用には見学と体験が必要です。

9:00 開所
 9:00～9:50 学習1
 10:00～10:50 学習2
 11:00～11:50 ふれあい
 12:00～13:00 昼食・休憩
 13:00～13:50 学習3
 14:00～14:50 学習4
 15:00～15:50 学習5
 16:00 閉所

◎お子さんのことで気がかりなことがありましたら、電話で面接相談をお申し込みください。

☎055-951-3440 *月～金 9:00～17:00

*電話相談「やまびこ電話」（匿名相談を受付）もごさいます。ぜひご利用ください。

☎055-951-7330 *月～金 10:00～19:00

秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。



【はばたき】
【相談指導学級】
の様子

【体験活動「はばたき」】

(通称：はばたき活動)

- 1/12(金)新春お楽しみ会 (5人)
- 1/24(水)ポッチャを楽しもう (3人)
- 2/8(木)コットンボールを作ろう(9人)
- 2/20(火)楽しく身体を動かそう(5人)
- 3/11(月)深海水族館に行こう (8人)

はばたき活動は、1対1の面接相談とは違い、他の通所生や担当以外の職員とも関わる小集団活動です。令和5年度も、新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら、できる範囲で実施しました。

「新春お楽しみ会」では、トランプや坊主めくり、すごろくといったお正月らしい遊びで子供たちのはしゃいだ姿を見ることができました。

「コットンボールを作ろう」では、ポンドで手をベタベタにしながら、集中して作業に取り組む姿が見られました。

「深海水族館に行こう」は、最後のはばたき活動となり、子供たちは、珍しい深海魚の展示に見入っていました。お土産も買って楽しい思い出を作ることができました。



【3/11深海水族館】

【相談指導学級】(通称：はばたき教室)

昨年度の相談指導学級の開所期間は、令和5年4月7日から令和6年3月19日まででした。利用者は25人(中3：9人、中2：9人、中1：4人、小6：1人、小5：1人、小3：1人)でした。

午前に学習の時間2コマと「ふれあい」の時間を、午後に学習の時間3コマを設定しています(1コマ50分)。学習は自学自習を基本とし、困っている様子があれば、その都度担当が支援しています。最近では、クロームブックを持参し、学習に関係する動画を観たり調べ学習に活用したりする子も現れるなど、学習方法も変わりつつあります。

「ふれあい」では、室内レクやスポーツ、創作活動などを計画的に実施しています。昨年度は、特に創作活動に力を入れ、季節の飾りや葉・コースター作りを行いました。子供たちは、小集団での活動を通して、互いの性格や特性を理解し、上手な距離感を保ちながら人との関わり方を学んでいきます。回を重ねるごとに打ち解け、学年の壁を越えて楽しい時間を過ごしています。

どの程度来所し、どの時間帯を利用するかは、各自で計画を立てます。週に1度程度利用する子もいれば、ほぼ毎日利用する子もいます。

今年も昨年同様、学習支援と「ふれあい」での小集団活動を通して、心理面の回復を促進し、社会的自立と学校復帰に向け支援していきたいと思います。

青少年教育センターの活動予定 (5～7月の主な活動) *天候や感染状況等により、変更することがあります。

はばたき活動		補導関係	
5月9日(木)	びゅうおに行こう	5月10日(金)	補導委員会代表者会
5月22日(水)	公園で遊ぼう	5月13日(月)	新任補導委員研修会
6月13日(木)	パズル、塗り絵に挑戦	5月16日(木)	〃
6月26日(水)	買い物ツアーに行こう	6月21日(金)	補導委員会代表者会
7月11日(木)	切り絵に挑戦	7月2日(火)	夏季一斉少年補導、立入調査
6月24日(月)	そよかぜ	7月8日(月)	青少年非行・被害防止街頭キャンペーン
中央街頭補導	5月 21(火) 22(水) 28(火)	7月27日(土)	沼津夏まつり特別補導～28日(日)
6月	5(水) 7(金) 11(火) 14(金) 18(火) 19(水) 25(火) 26(水)		
7月	3(水) 5(金) 12(金) 16(火) 17(水) 19(金) 24(水)		



補導の状況

1 1月～3月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

学 職 別 区 分		性 別	小学生	中学生	高校生	その 学生他	有職少年	無職少年	計	年間累計
行 為 種 別	飲 酒	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	喫 煙	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	薬 物 乱 用	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	夜 間 は い か い	男	0	4	7	0	0	0	11	19
		女	0	0	1	0	0	0	1	7
	不 良 交 友	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	怠 学 ・ 怠 業	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゲームセンター入場	男	11	9	94	0	0	0	114	327
		女	3	2	103	0	0	0	108	214
	パチンコ店入場	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	カラオケ店入場	男	0	0	3	0	0	0	3	3
		女	0	0	1	0	0	0	1	1
自転車の暴走行為	男	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	
自転車の二人乗り	男	0	0	2	0	0	0	2	2	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	
自転車の無灯火	男	0	1	4	0	1	0	6	31	
	女	0	1	0	0	1	0	2	5	
危 険 な 遊 び	男	0	0	0	0	0	0	0	3	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	
そ の 他	男	0	2	0	0	0	0	2	6	
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	
計		男	11	16	110	0	1	0	138	391
		女	3	3	105	0	1	0	112	229
男 女 合 計			14	19	215	0	2	0	250	620

法令違反・ く犯行為に 関する連絡 ※	家庭・学校等	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	他 機 関	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0	0

※く犯行為……将来、犯罪に発展するおそれのある行為

愛 の 声 か け 運 動	男	86	47	76	10	3	0	222	947
	女	44	21	81	2	0	0	148	647
男 女 合 計			130	68	157	12	3	370	1594

【補導記録簿より】

- ・ストリートスポーツパーク（SSP）では、寒さの中、屋外スポーツの気持ちよさを感じさせてもらった。
- ・プラサヴェルデ屋上にいた小学生は、市立図書館学習コーナーがいっぱいで勉強する場所を探してここに来たと話してくれた。
- ・中央公園にいた高校生は、ベンチで会話を楽しんだり、卓球をしたりして、施設改修が活かされている印象だった。
- ・ゲームセンターは、どこも親子連れから若者まで、幅広い客層で賑わっていた。プリクラやクレーンゲームのある明るい場所とコインゲームなどのある薄暗い場所とでは、雰囲気まるで違う。
- ・暖かくなりつつあるので、青少年が溜まりやすい場所の巡回を強化したい。【1/13火曜補導】
- ・今回で補導活動は最後だったが、これを機に、個人としても声かけ等を行ってみたい。



2 少年補導委員の参加人数・補導回数・補導状況

	参加人数					回数				状況	
	市職員	補導委員代表	警察	補導委員区	計	午前	午後	夜間	計	の不良行為等の確認	愛の声かけ
1月	12	13	1	219	245	1	14	36	51	85	85
2月	16	15	0	234	265	1	11	38	50	100	132
3月	12	17	0	213	242	0	8	40	48	65	153
合計	40	45	1	666	752	2	33	114	149	250	370
年間	126	154	5	2498	2783	6	100	429	535	620	1594

*参加人数、補導回数等の年間合計で、一部、数値の修正を行いましたので、ご了承ください。

補導の目

第四コミュニティ少年補導部をお預かりして

第四地区補導部長 榊原 正男

今から6年ほど前、当時の責任者より、体調を崩したので、新年度の責任者をやってほしいと依頼がありました。私は請けるのはいいが、何年間担当すべきか、次の責任者はどのように手配するのかという2つの課題を伝えました。前任者が体調不良ならば早く請けねばと思い、課題も解決できぬまま、今後の補導活動に問題を起こすわけにも行かない状況の中で、このお役を請けることにしました。

第四コミュニティ補導活動を説明しておきます。補導委員の選出方法は、①第四コミュニティの20自治会より自治会長が1名を選出、次にコミュニティの補導役員3名を選出します。役員については、前部長に選任してもらいました。②第四中PTA育成部より約25名を、第四小PTA補導委員会より約10名を選出します。③自治会組織の中より約10名を選出します。補導活動は、毎月第一、第三金曜日の2回実施します。午後8時30分に沼津市民文化センターを出発し、三園町交番で終了します。第四コミュニティは、事前に第一及び第三金曜日に振り分けます。第四中、第四小は、毎月の出席メンバー及び第一、第三金曜に分けています。自治会も各月、第一、第三金曜日の出席メンバーを決めておきます。毎回のパトロールに出席するメンバーは、おおよそ15~25名となります。

この補導行事を実施するために、次のことを前向きに考えています。

- 子供たちと補導委員の安全を図るために複数で実施すること

子供たちと会わなくても、私たちが複数名で活動することにより、事故や事件を発生させない、緊急事態が発生したときは即110番通報し、警察に協力してもらい、補導活動中、メンバーに体調不良等が発生したときは119番通報等により救助要請する、などの対応を行うことができます。

- 補導委員が諸事情でお休みするときには補導責任者と連絡を取り合うこと

補導当日、本人が体調不良のときや家族の帰りが遅く、子供たちしか家にいないとき、ご家族からその日の活動を休んでほしいと要望があったときなど、連絡をいただいたら、責任者は快く了解して、次回出られるときに来てほしい旨お願いしています。

補導活動は、ボランティア活動です。本当にたいへんです。いろいろと問題もあろうかと思いますが、一人で悩まず、グループのメンバーやコミュニティの責任者、青少年教育センターなどと相談して解決してください。解決できなければ、しばらくお休みしてみるのもいいでしょう。あまり無理しないでください。絶対に一人で悩まないでください。ボランティア活動ですから。

